splunk>
a CISCO company

Splunk Experience Day 2025

セッションタイムテーブル

Start	End	メインステージ
10:00	10:40	**Keynote Session** **Agentic AI時代に備えよ〜進化するデジタルレジリエンス戦略** 私たちはいま、「AIが人に従う時代」から、「AIが自ら動く時代」への転換点に立っています。Agentic AI——それは、指示を待たずに目的を理解し、判断し、実行する新しい知性です。この変化は、単なる効率化ではなく、意思決定、業務設計、組織そのもののあり方を揺るがします。では、私たちのITインフラや運用体制は、こうした“常に動き続けるAI”に本当に耐えられるのでしょうか？ ここで鍵となるのが「Digital Resilience」。単に止まらないシステムではなく、予測し、素早く対応し、進化し続ける力です。SplunkとCiscoは、データプラットフォームを中核に、AI、Observability、Securityを有機的に結びつけ、まさにその基盤を再定義しています。これは製品の話ではありません。人とAIが協働する未来の「構造」をどう築くか。そのヒントを共有しします。 Splunk Services Japan 日本法人 社長執行役員 **野村 健** Splunk Services Japan 技術統括本部 ストラテジック技術本部 本部長 **澤 崇** ※都合により講演者が変更になりました。
10:40	11:10	**特別セッション** **AIとレジリエンスで築く、“現場と経営“のセキュアな橋渡し** GMOインターネット株式会社 システム本部CISO Office / CISO **末原 孝積 氏**
11:10	11:50	**パネルセッション** **Security for AI x AI for Security: 信頼されるAI活用の未来像** **パネリスト** ソフトバンク株式会社 常務執行役員 兼 CISO **飯田 唯史 氏** Co-founder of Robust Intelligence, Cisco Director of AI Engineering AIガバナンス協会 代表理事 **大柴 行人** **モデレータ** Splunk Services Japan CTO **森 玄理**
11:50	12:10	休憩

【ご来場者特典】

先着300名様に書籍「Splunkエンジニアの教科書」、
全員にSplunkオリジナルボトルホルダーをプレゼント!

先着300名様限定

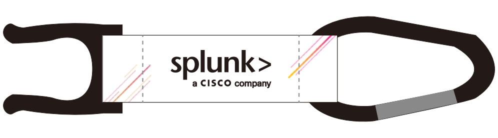
Splunkエンジニアの教科書

セキュリティとITを
進化させる
データ活用術が
よくわかる、
Splunkエンジニアが
押さえておくべき
入門書の決定版！

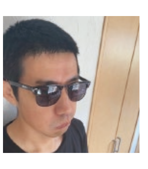
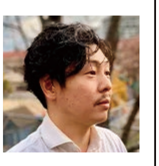
Splunkエンジニアの教科書
splunk>
セキュリティとITを進化させるデータ活用術がよくわかる、Splunkエンジニアが押さえておくべき入門書の決定版!

来場者全員

Splunkオリジナル ボトルホルダー



Start	End	スポンサーランチセッション
12:10	12:40	**Customer Experience　ーSplunkの活用促進事例及び支援についてー** Splunkの利活用促進をご支援するカスタマーサクセス活動について講演いたします。Splunkは導入いただいた後の利活用が非常に重要なソリューションです。カスタマーサクセス活動の成功事例やマクニカのDistributor視点でのご支援内容のご紹介を通じてSplunkの利活用を最大化していただくためのヒントを見つけていただけると幸いです。 株式会社マクニカ　ネットワークス カンパニー セキュリティ第２事業部 第１営業部 第１課　課長代理 **貴田 健一 氏**
12:40	13:00	休憩

Start	End	ブレークアウトセッション		
		Track-A	Track-B	Track-C
13:00	13:30	**A-1** **Foundation AI - セキュリティを変えるオープンイノベーション** AIによる攻撃がますます巧妙になる一方で、セキュリティ分野のAI活用はまだ十分とは言えません。この課題に対処するため、Ciscoはオンプレミスで稼働するセキュリティ特化型LLM「Foundation AI」を開発しました。この技術はオープンソースとして公開され、業界全体の進化を後押しします。本セッションでは、Foundation AIで実現されるサイバーセキュリティの新たな可能性についてご紹介します。 Co-founder of Robust Intelligence, Cisco Director of AI Engineering **大柴 行人** 	**B-1** **One Communityで戦うCiscoとSplunkのセキュリティ戦略** Ciscoと一緒になったSplunkが目指す「One Community」というメッセージを体現する各種セキュリティ機能の最新アップデートをご紹介します。 Splunk Services Japan 技術統括本部 パートナー技術本部兼 ソリューション技術本部 部長 **横田 聡** 	**C-1** **OpenTelemetry時代の選択 — オープンな標準で広がる、Splunkの観測力** OpenTelemetryの普及により、ベンダーロックインに依存しないオブザーバビリティが現実のものとなりつつあります。本セッションでは、Splunk Observability Cloudがどのように標準に準拠しながら高いオブザーバビリティを提供し、さらにAIアシスタントの活用によって障害対応や分析業務を効率化できるかを紹介します。 Splunk Services Japan Senior Solutions Architect, Obserbability **大谷 和紀** 
13:30	13:50	休憩		
13:50	14:20	**A-2 お客様事例セッション** **GMOインターネット株式会社の内部SOCがSplunkを使い倒した結果 feat. GMOサイバーセキュリティ byイエラエ** SIEMとしてなぜSplunk選んだのか。そして使い倒した結果、セキュリティや運用面がどう変化/改善したのか。　またSOCのインソース/アウトソースについて、弊社とイエラエとの連携をお話します。 GMOインターネット株式会社 システム本部 CISO Office SOCチーム リーダー **濱本 直樹 氏**	**B-2** **企業が取るべきセキュリティ施策とGlobal SOC の潮流** ここ数年多くの企業においてセキュリティインシデントに対する説明責任の重要性が急速に高まっており、高度なセキュリティオペレーションが求められています。デロイトトーマツサイバーでは、クラウド上に構築されたグローバルサービス基盤のSOC監視や重要インフラ企業への脅威インテリジェンスの提供などを手がけており、本セッションでは企業が取るべきセキュリティ施策の最前線とGlobal SOCの潮流についてお客様事例・活用ユースケースと共にご紹介いたします。 デロイトトーマツサイバー合同会社 サイバーインテリジェンスセンター センター長・執行役員 **佐藤 功陛 氏** 	**C-2** **SAPもSAP以外も何が起きているかひと目でわかる次世代のオブザーバビリティ** 多くの企業がSAPをERPに活用しています。仮に、SAPを含めた業務運営全体をエンドツーエンドで解消し、機械学習を活用したプロアクティブな機能によってパフォーマンスの低下や停止を検知し、計画外のダウンタイムを排除し、問題発生を予防できることを想像してみてください。 本セッションでは、この実現に向けてSplunkが提供しているService Intelligence for SAP® Solutions（SI for SAP）の活用についてご紹介します。 株式会社日立ソリューションズ スマートワークソリューション本部 インフォメーション シェアリングソリューション部 チーフITアーキテクト **桐生 貞義 氏**
14:20	14:40	休憩		
14:40	15:10	**A-3 お客様事例セッション** **大企業向けSaaSでのAppDynamics導入** **〜 リアルなAPM導入効果と実践的な活用方法を紹介! 〜** 大手企業向け統合人事システム『COMPANY』を提供するWorks Human Intelligenceより、障害調査や監視業務の課題を背景に導入したAppDynamicsの選定理由や、その具体的な活用効果、APM／DB／サーバ監視を通じたシステム全体の可視化による改善事例に加え、社内での定着・活用促進に向けた工夫や取り組みについてもご紹介致します。 株式会社Works Human Intelligence Product Div. SRE Dept. Dept Manager **河上 朋樹 氏** 株式会社Works Human Intelligence Product Div. SRE Dept. Platform Grp. マネージャー **遠藤 菜奈 氏**	**B-3** **Splunkを利用した高度セキュリティログ監視サービスの導入と運用** 外部からのサイバー攻撃や内部不正への備えとして、組織内でのログ分析プラットフォームの導入が重要となっています。NRIセキュアテクノロジーズでは、エンタープライズ環境におけるSplunkを利用した高度なセキュリティログ監視サービスを提供しています。本講演では、弊社が付加価値の高いサービス提供を実現するためのコンテンツ実装や運用を実際の導入事例を基にご紹介いたします NRIセキュアテクノロジーズ株式会社 マネージドセキュリティサービス 事業本部 MDRサービス部 シニアセキュリティアナリスト **木村 優介 氏** 	**C-3** **Splunkで実現するオブザーバビリティとユースケースのご紹介** Ciscoとの統合後、Splunkのオブザーバビリティのポートフォリオが拡張し、クラウドネイティブからミッションクリティカル、オンプレミス環境まで、あらゆる機器やサービスの可視化・分析が可能になりました。本セッションでは、上記広範かつ機能的なポートフォリオのご紹介及び効果的なユースケースをご紹介させていただきます。 Splunk Services Japan Observability Advisor **松井 洋一** ※都合により講演者が変更になりました。
15:10	15:30	休憩		
15:30	16:00	**A-4 お客様事例セッション** **Splunkを基盤とした戦略的パートナーシップとテクノロジーによるITセキュリティ変革** 複数のSIEMやMSPによる地域ごとのセキュリティ運用体制から、MSPとテクノロジーを統合したグローバルな運用体制への移行事例を紹介します。この変革には長期的な計画が必要で、技術だけでなく、適切な人材の育成・配置やMSP・ベンダーとの戦略的パートナーシップが重要です。本セッションでは、Splunkとの連携がどのように重要なパートナーシップとなり、今後の発展についても解説します。 オリンパス株式会社 Senior Director Global Security Operations Lead Matthew W. Stephan 氏	**B-4** **Splunk Asset & Risk Intelligenceに見るデジタル環境におけるアセット＋脅威ベースのセキュリティの未来像** 企業や組織のセキュリティ態勢の維持において、増え続けるデジタル資産の管理は大きな課題となっています。Splunkの新機能であるAsset & Risk Intelligenceが見据える未来像からデジタル経営環境防衛における資産管理の考え方を紐解きます。 株式会社ラック プロダクト統括部 統括部長 **仲上 竜太 氏** 	**C-4** **人材不足でも回る運用へ！運用現場を進化させる“オブザーバビリティ”の賢い活用法** クラウドシフトが進む中、システム運用管理は進化していますか？ IIJは、Splunk初となる「オブザーバビリティの月額サブスクリプション提供」を開始しました。 10年以上の実績を誇る統合運用管理（UOM）にSplunk Observabilityを追加することで、 クラウド化と人材難に直面する運用現場を支援します。 PaaSやコンテナ運用に追随できない現状を打破し、効率的なシステム運用を実現する方法を解説します。 株式会社 インターネットイニシアティブ ネットワークサービス事業本部 クラウド本部 MSP推進部 部長 **福原 亮 氏**
16:00	16:20	休憩		
16:20	16:50	**A-5** **MasterCard様海外事例から探る、グローバル企業のビジネスを支えるSOC最前線** 本セッションでは、グローバルな決済テクノロジー企業であるMastercard様の事例をご紹介します。Mastercard様がどのようにセキュリティ対策を企業戦略と連携させ、Splunkを活用して自社のセキュリティオペレーションセンター（SOC）を高度化しているかを中心にお話しします。グローバル規模でのセキュリティ強化における具体的な取り組みや得られた成果を通じて、Splunkの活用価値をご紹介します。 Splunk Services Japan エンタープライズ営業本部 金融営業部 Senior Account Manager **宮武 由紀子** Splunk Services Japan エンタープライズ技術本部 Staff Solutions Engineer **小川 健一** 	**B-5** **Splunk Federated Search for S3 × AWS連携 — 実践的データパイプライン構築のポイントを公開** Splunk Federated Search for S3 は、Amazon S3 に保存された膨大なデータを、Splunk に取り込まずに直接検索・分析できる新しいアプローチです。しかし、実際にAWSサービスと連携し、スケーラブルかつ効率的な分析基盤を構築するには、いくつかの技術的ノウハウが求められます。このセッションでは、Splunk Federated Search for S3 を利用するためのデータパイプラインを構築する際に検討すべき技術的なポイントについて解説します。 クラスメソッド株式会社 クラウド事業部 コンサルティング部 AWS ソリューション アーキテクト **酒井 剛 氏** 	**C-5** **２社の統合が導く新たなデジタルレジリエンス SCSK セキュリティ × netone** SCSKとネットワンシステムズの統合により、アプリ・セキュリティ・ネットワーク・インフラを網羅した統合ITサービスが実現。SplunkとCiscoの連携を活かし、可視化・セキュリティ検知・パフォーマンス監視を強化することで、企業のIT基盤全体のレジリエンス向上と迅速な課題解決を支援します。 SCSKセキュリティ株式会社 テクノロジー本部 セキュリティプラットフォーム部 テクニカルサービス第二課・課長 **米田 覚 氏** ネットワンシステムズ株式会社 ビジネス開発本部 応用技術部 エキスパート **知念 紀昭 氏**
16:50	17:00	休憩		
17:00	18:30	ネットワーキング・レセプション		

展示&その他	10:00〜17:00	●Splunk、スポンサー展示ブース　株式会社マクニカ ネットワークス カンパニー 株式会社インターネットイニシアティブ SCSKセキュリティ株式会社・ネットワンシステムズ株式会社　株式会社SHIFT ●F1タイムアタック・チャレンジ